

日本塩学会, 日本海水学会誌 第11巻～第20巻 総目次
昭和32(1957)年～昭和42(1967)年

日本塩学会, 日本海水学会誌
第11巻～第20巻 (通巻50号～108号) 総目次
昭和32(1957)年～昭和42(1967)年

目 次		
1. 巻頭言	(3) その他	(4) 固結
2. 挨拶	5.5 冷凍およびガスハイドレート法	(5) 海塩の性質
2.1 総会挨拶	5.6 分析化学	(6) スケール
2.2 講習会挨拶	(1) ナトリウムおよびカリウム	(7) イオン交換
2.3 祝辞	(2) マグネシウムおよびカルシウム	(8) その他
3. 総説	(3) 硫酸イオン	5.9 電気化学
4. 講座	(4) 微量成分	5.10 腐食防食
5. 報文	(5) その他	5.11 食塩の利用
5.1 自然力利用海水濃縮法	5.7 無機製造化学	6. 資料
(1) 流下式塩田	(1) 食塩	6.1 数表
(2) 立体式濃縮装置	(2) カリウム塩	6.2 紹介
(3) その他	(3) マグネシウム塩	6.3 消息
5.2 真空および加圧式蒸留法	(4) カルシウム塩	6.4 文献紹介
5.3 フラッシュ蒸留法	5.8 一般化学	6.5 会員寄書
5.4 イオン交換膜法	(1) 相律	6.6 講習会講演概要
(1) 膜特性	(2) 微量成分の挙動	6.7 研究技術発表会講演要旨
(2) 海水濃縮	(3) 結晶	6.8 製塩工場めぐり

日本塩学会, 日本海水学会誌 第11巻～第20巻 総目次
 昭和32(1957)年～昭和42(1967)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
1. 巻 頭 言					
欧米の塩業事情を視察して	三井 武夫	11	2	73	1957
水族の生活と塩類	相川 広秋	11	5	225	1957
年頭にあたりて	久保田 美寿雄	12	1	1	1958
御挨拶	小林 章	12	2	59	1958
会誌の編集について	岡 俊平	13	1	1	1959
製塩技術の進歩	弘法 健三	13	4	163	1959
ガーナ (GHANA) に旅して	水谷 嘉隆	13	5	223	1959
御挨拶	津島 寿一	13	6	281	1959
総合海塩化学工業の進展を望む	永井 彰一郎	14	1	1	1960
日本塩学会10年の歩み	岡 俊平	14	2	57	1960
東南アジアの塩業を見て	橋爪 正男	14	4	165	1960
若い技術者に夢を	福永 範一	14	5	215	1960
日本塩学会の任務	岡 宗次郎	14	6	265	1961
整理後の問題点について	小林 章	15	1	1	1961
タイ国の塩研究	半沢 信久	15	3	109	1961
塩業経営と研究機関	野口 武	15	4	151	1961
アイデア	諏訪 小一郎	15	5・6	207	1962
塩と水	弘法 健三	16	1	1	1962
小名浜工場に寄せて	高村 健一郎	16	3	105	1962
塩の試験	河村 文一	16	4	153	1962
感謝と希望	石橋 雅義	16	5	207	1963
塩学会に採水部会 (または塩水転換部会) の新設を提案する	橋爪 正男	16	6	251	1963
海塩の研究と協力	岡 宗次郎	17	1	1	1963
日本の塩業	友藤 哲夫	17	3	113	1963
塩と水	岡 俊平	17	4	165	1963
戦後雑感	杉 二郎	17	5	221	1964
日本塩学会の発展のために	稲川 徹	17	6	275	1964
海水工業コンビナート	河村 文一	18	2	51	1964
今こそ海水工業への転換期か?	永井 彰一郎	18	3	103	1964
研究の公共性	鈴木 篁	18	4	155	1964
複数制のデータ整理	半沢 信久	18	5	203	1965

日本塩学会, 日本海水学会誌 第11巻～第20巻 総目次
昭和32(1957)年～昭和42(1967)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
学問における専門の“カベ”を取除き若き理工学研究者の参加を望む	山辺 武郎	18	6	251	1965
日本海水学会の発足に際して	杉 二郎	19	1	1	1965
日本海水学会への改名に際して	永井 彰一郎	19	1	2	1965
わが国塩業の現状	友藤 哲夫	19	1	4	1965
基礎研究の重要性	小川 恒彦	19	2	81	1965
産学協同に憶う	高嶋 四郎	19	3	147	1965
日本海水学会の発展を願って	大塚 孝良	19	4	197	1965
技術の進歩	堺 嘉之	19	5	255	1966
海は広いな。大きいな。	北野 清秀	19	6	301	1966
困ってからでは遅い	鈴木 篁	20	2	61	1966
会員の増加と会誌の増刊を望む	高嶋 四郎	20	3	115	1966
念には念を	川原 琢磨	20	4	187	1967
海水と淡水	青木 利夫	20	5	245	1967
海水科学の将来を想う	武藤 義一	20	6	301	1967
2. 挨拶					

2.1 総会挨拶

福岡市における第8回総会	永井 彰一郎	11	4	175	1957
福岡市における第8回総会	久保田 美寿雄	11	4	177	1957
金沢市における第9回総会	久保田 美寿雄	12	3	123	1958
東京都における第10回総会	久保田 美寿雄	13	3	105	1959
東京都における第10回総会	岡 俊平	13	3	106	1959
東京都における第10回総会	松隈 秀雄	13	3	107	1959
京都市における第11回総会	岡 俊平	14	3	115	1960
京都市における第11回総会	福永 範一	14	3	115	1960
松山市における第12回総会	福永 範一	15	2	51	1961
松山市における第12回総会	弘法 健三	15	2	52	1961
赤穂市における第13回総会	弘法 健三	16	2	57	1962
赤穂市における第13回総会	岡 宗次郎	16	2	57	1962
高松市における第14回総会	岡 宗次郎	17	2	59	1963
高松市における第14回総会	野口 武	17	2	60	1963

日本塩学会, 日本海水学会誌 第11巻～第20巻 総目次
昭和32(1957)年～昭和42(1967)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
徳島市における第15回総会	野口 武	18	1	1	1964
徳島市における第15回総会	河村 文一	18	1	1	1964
岡山市における第16回総会	河村 文一	19	1	8	1965
岡山市における第16回総会	杉 二郎	19	1	9	1965
広島市における第17回総会	杉 二郎	20	1	1	1966
広島市における第17回総会	東海林 武雄	20	1	2	1966

2.2 講習会挨拶

徳島市における第3回塩科学技術講習会	吉村 甚吉	11	1	1	1957
岡山市における塩科学技術第5回講習会	久保田 美寿雄	13	2	57	1959

2.3 祝辞

東京都における第10回総会	兼重 寛九郎	13	3	106	1959
京都市における第11回総会	和達 清夫	14	3	116	1960
京都市における第11回総会	佐藤 寛次	14	3	116	1960
京都市における第11回総会	平沢 興	14	3	117	1960
松山市における第12回総会	香川 冬夫	15	2	52	1961
松山市における第12回総会	久松 定武	15	2	53	1961
松山市における第12回総会	湯山 清	15	2	53	1961
赤穂市における第13回総会	金井 元彦	16	2	58	1962
赤穂市における第13回総会	関 皓之	16	2	59	1962
赤穂市における第13回総会	小幡 栄亮	16	2	59	1962
高松市における第14回総会	金子 正則	17	2	60	1963
徳島市における第15回総会	原 菊太郎	18	1	2	1964
徳島市における第15回総会	児玉 桂三	18	1	3	1964
日本海水学会発足：日本海水学会への発展を祝して	木村 健二郎	19	1	6	1965
日本海水学会発足：日本海水学会の前途を祝して	平塚 英吉	19	1	7	1965
岡山市における第16回総会	加藤 武徳	19	1	10	1965
岡山市における第16回総会	赤木 五郎	19	1	11	1965
広島市における第17回総会	萩原 幸雄	20	1	2	1966

日本塩学会, 日本海水学会誌 第11巻～第20巻 総目次
昭和32(1957)年～昭和42(1967)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
3. 総 説					
海洋資源開発の一環としての水酸化マグネシウムの製造と利用	高嶋 四郎	11	6	289	1957
製塩技術における最近の問題点について	稲川 徹	12	4	169	1958
総合研究と試験研究管理	三代川 清造	12	5	235	1958
国内塩の質と量と価についての回想	福永 範一	12	6	287	1958
日本塩業の現況と将来	稲川 徹	14	2	59	1960
食塩と化学工業	植村 四郎	14	2	66	1960
窯業への食塩の用途	永井 彰一郎	14	2	72	1960
道路への塩の利用について	三代川 清造	14	2	76	1960
水産における食塩の利用	橋本 芳郎	14	2	82	1960
化学調味料について	小川 鉄雄	14	2	87	1960
味噌と塩について	中野 政弘	14	2	91	1960
日本醤油の良さ	横塚 保	14	2	97	1960
食塩と畜産食品の加工	藤巻 正生	14	2	101	1960
家庭生活から見た食塩	小川 文代, 野村 万千代	14	2	106	1960
人体の保健と食塩	小倉 保己	14	2	110	1960
金属材料の腐食と防食 - 腐食のおこる原因, 防食方法の考え方 -	吉沢 四郎	15	5・6	209	1962
アメリカにおける塩水転換の試験研究	鈴木 篁	16	4	155	1962
イオン交換樹脂およびイオン交換樹脂膜	山辺 武郎	16	5	209	1963
イオン交換膜を用いる電気透析装置	諏訪 小一郎	16	6	253	1963
海水中の微小生物と微量成分	佐伯 有常	17	2	64	1963
ハイドロイトプロセスに関する二, 三の知見	頼実 正弘	17	5	223	1964
物質の分離について	桐栄 恭二	17	6	276	1964
塩分析の最近の進歩	武藤 義一	18	1	7	1964
塩田における害虫問題 とくに流下盤を加害するオオツノハネカクシの生態と防除について	松沢 寛	18	2	53	1964
腐食抑制剤の作用機構	藤井 晴一	18	4	156	1964
結晶化と不純物	室谷 寛	18	5	205	1965
浮上法による無機塩類の分離, 回収	松野 武雄	18	6	252	1965
苦汁の電解利用について	深沢 旭	19	1	15	1965
漬物	小川 敏男	19	2	83	1965

日本塩学会, 日本海水学会誌 第11巻～第20巻 総目次
 昭和32(1957)年～昭和42(1967)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
苦土の肥効	坂上 朗	19	2	91	1965
一塩および海水の資源的開発 特集(1) - 海水の直接利用	内田 駿一郎	19	4	199	1965
海水中の有機化合物とこれに関連する有機地球科学的諸問題	小山 忠四郎	19	4	217	1965
海棲付着性物	藤山 虎也	19	4	228	1965
海洋の微小生物(プランクトン, バクテリアとその生産)	佐伯 有常	19	4	235	1965
塩および海水の資源的開発 特集(2) - 食塩と化学工業	八幡屋 正	19	5	257	1966
最近における食料用塩の現状	鈴木 七郎	19	5	263	1966
海水マグネシウムの利用	室谷 寛	19	5	270	1966
海水中のカリとその回収方法	鈴木 篁	19	5	274	1966
原子力開発の近況と原子力による海水の脱塩	向坊 隆	19	5	279	1966
塩および海水の資源的開発 特集(3) - 塩水淡水化研究の概要	岡 俊平	19	6	302	1966
イオン交換膜法	山辺 武郎	19	6	311	1966
冷凍法の現状	内田 隆	19	6	317	1966
死海の歴史とその海塩類工業	久保 輝一郎, J. KENAT, T. ZISNER	20	1	7	1966
沿岸の海, 沖合の海について	松平 康雄	20	2	63	1966
塩の利用とソーダ工業の将来について	中沢 治男	20	3	117	1966
最近における欧米の製塩	橋爪 正男	20	4	189	1967
4. 講 座					
イオン交換樹脂膜	山辺 武郎	15	3	137	1961
海塩利用に関する問題	永井 彰一郎	15	4	165	1961
マグネシウム化合物	室谷 寛	15	4	193	1961
実験計画法(1)	加峯 正美	15	5・6	262	1962
天日塩の成分と結晶内部構造について(その1)	半沢 信久, 増沢 力	16	1	33	1962
実験計画法(2)	加峯 正美	16	1	44	1962
天日塩の成分と結晶内部構造について(その2)	半沢 信久, 増沢 力	16	3	139	1962
実験計画法(3)	加峯 正美	16	4	193	1963
実験計画法(4)	加峯 正美	16	5	240	1963
ハイドレート法による海水, かん水の濃縮(1)	斎藤 進	17	1	39	1963
実験計画法(5)	加峯 正美	17	1	45	1963
ハイドレート法による海水, かん水の濃縮(2)	斎藤 進	17	2	97	1963
実験計画法(6)	加峯 正美	17	2	104	1963
海水の前処理	中山 道夫	17	4	197	1963

日本塩学会, 日本海水学会誌 第11巻～第20巻 総目次
昭和32(1957)年～昭和42(1967)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
多段フラッシュ蒸発法	石川 哲三	18	2	85	1964
にがりの利用 (1)	綾井 政雄	18	3	137	1964
にがりの利用 (2)	綾井 政雄	18	5	232	1965
枝条架式濃縮装置の断続運転	吉田 実	19	1	52	1965
液組成と品質	増沢 力	19	2	129	1965
食塩の晶出	小西 武夫	19	3	129	1965
真空式蒸発における順給種添加スケール防止	岡本 速雄	20	2	97	1966
製塩工程における鉄成分	尾方 昇	20	5	285	1967
5. 報 文					

5.1 自然力利用海水濃縮法

(1) 流下式塩田

不透水性地盤の生成について (第2報) 粘土盤と基盤砂の関係	杉 二郎, 松下 浩, 高柳 淑子	11	1	16	1957
流下式塩田生産かん水成分調査試験	江川 勉, 福田 隆, 林 順一, 田淵 重造	11	1	40	1957
塩田に棲息する有害植物の研究	藤山 虎也	11	3	156	1957
流下式塩田における粘土の基礎研究	弘法 健三, 藤沢 徹	11	3	167	1957
流下式塩田地盤よりの蒸発について	高橋 喜一郎, 佐藤 惟将, 久須見 弘	11	5	232	1957
流下式塩田地力についての考察	諏訪 小一郎, 田中 純生	11	6	293	1957
塩田用塩化ビニルフィルムの研究 (第1報) 市販塩ビフィルムの適正試験について	高嶋 四郎, 岡田 正七	12	1	19	1958
塩田用塩化ビニルフィルムの研究 (第2報) 安定剤可塑剤の比較並びに最適配合フィルムの試作	高嶋 四郎, 岡田 正七	12	1	24	1958
砂床流下式大規模塩田による濃縮試験	吉田 実, 中馬 昭久	12	4	174	1958

(2) 立体式濃縮装置

枝条架式濃縮装置による蒸発について	佐藤 惟将, 久須見 弘, 林越 勝美	11	2	88	1957
枝条架式濃縮装置を併置した流下式塩田の湿度, 風速分布について	三宅 猪之助, 田中 純生, 水内 和夫, 山本一三, 松田 義昭	11	2	91	1957
立体式濃縮装置に関する研究, ネット式について (第1報)	野口 勝一	11	5	227	1957
枝条架式立体濃縮装置の循環槽の容量について	大場 信邦, 小倉 祐幸	11	5	236	1957
枝条架における落下水量分布	杉 二郎, 玉置 昭道, 井上 裕雄	12	3	137	1958
立体濃縮装置の蒸発機構について (第2報)	大場 信邦, 池田 美登	12	4	185	1958
立体濃縮装置の表面積と蒸発速度について	大場 信邦, 小倉 祐幸	12	5	237	1958

日本塩学会, 日本海水学会誌 第11巻～第20巻 総目次
 昭和32(1957)年～昭和42(1967)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
立体濃縮装置に付着するスケールについて	高橋 喜一郎, 久須見 弘, 安藤 嘉孝	13	2	68	1959
大気熱利用の膜面式立体濃縮装置	鈴木 義孝	13	3	148	1959
枝条架式濃縮装置における落下水滴および流下水の分布に関する研究	小川 恒彦, 船田 周	13	5	245	1959
塩田接地風, ならびに枝条架を通過した, 風の復元状態について	柳原 春義, 野口 勝一, 太巻 光彦	13	5	252	1959
枝条架後方の風の減衰領域に関する研究	野口 勝一, 井上 裕雄	13	5	257	1959
枝条架式濃縮装置の蒸発機構に関する研究 (第4報) 枝条架式濃縮装置の液滴の飛散について	小川 恒彦, 船田 周	13	6	282	1959
枝条架式濃縮装置のかん水飛散防止について	吉田 実, 池田 美登, 中馬 昭久	13	6	285	1959
枝条架式濃縮装置の蒸発機構に関する研究 (第5報) 枝条架における流下水の枝条への付着について	小川 恒彦, 船田 周	14	6	267	1961
新立体式濃縮装置に関する研究 (第1報) 枝条架の風向制御について	橋爪 正男, 池田 美登, 吉田 実, 北之園 陽徳, 富岡 君雄, 中馬 昭久, 清水 勉昭, 中村 末治	15	5・6	242	1962
枝条架式濃縮装置の蒸発機構に関する研究 (第6報) 枝条面の蒸気圧分布について	小川 恒彦, 船田 周	15	5・6	250	1962
枝条架式濃縮装置の蒸発機構に関する研究 (第7報) 枝条架内の液滴の形状について	小川 恒彦, 船田 周	15	5・6	258	1962
立体濃縮装置の蒸発機構に関する研究 (第6報) 蒸発諸元公式の指数の検討	池田 美登	16	3	107	1962
立体濃縮装置の蒸発機構に関する研究 (第7報) 風速の乱れと立体蒸発に関する風洞試験	池田 美登	16	3	113	1962
立体濃縮装置の蒸発機構に関する研究 (第8報) 大気風速変動域の蒸発諸元公式の誘導	池田 美登	16	4	164	1962
枝条架の損失機構に関する試験	池田 美登	16	4	170	1962
新立体式濃縮装置に関する研究 (第2報) 有蓋吸引円型枝条架について	橋爪 正男, 池田 美登, 吉田 実, 北之園 陽徳, 清水 勉昭	16	4	177	1962
枝条架の濃縮機構に関する研究 一般化した濃縮式の誘導	池田 美登	16	5	215	1963
新立体式濃縮装置に関する研究 (第3報) 有蓋吸引方式の在来枝条架への応用について	橋爪 正男, 池田 美登, 吉田 実, 北之園 陽徳, 清水 勉昭	16	5	221	1963

日本塩学会, 日本海水学会誌 第11巻～第20巻 総目次
昭和32(1957)年～昭和42(1967)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
新立体式濃縮装置に関する研究(第4報) 枝条架の冷却性能について	池田 美登, 北之園 陽徳, 富岡 君雄	16	5	226	1963
新立体式濃縮装置に関する研究(第6報) 大型有蓋枝条架による採かん試験	橋爪 正男, 池田 美登, 吉田 実, 北之園 陽徳, 清水 勉昭	17	6	286	1964
新立体式濃縮装置に関する研究(第7報) 枝条架の冷却性能について	池田 美登, 山中 弘久	17	6	290	1964

(3) その他

瀬戸内海沿岸の入浜塩田土壌および海泥の粘土鉱物について	弘法 健三, 藤沢 徹	11	1	54	1957
織物地等の繊維性物質を利用した採かん法の研究	谷下 市松	11	3	168	1957

5.2 真空および加圧式蒸留法

蒸発缶に関する研究	浦口 勇三	11	3	167	1957
加圧真空式併用製塩工場の運転成績について	谷口 正太郎, 柳原 春義, 三森 嘉久, 原口 則雄	12	2	114	1958
三井塩業製塩工場の運転状況	谷口 正太郎, 柳原 春義, 三森 嘉久, 松尾 克彦	12	2	118	1958
滴状凝縮伝熱に関する試験(第2報) 滴状凝縮伝熱の現場応用化について	諏訪 小一郎, 西本 俊雄, 長岡 幸男, 相田 四郎	15	4	153	1961
標準型蒸発缶に関する試験(第5報) 切断模型による缶内流動について	岡本 速雄, 元木 善一	17	5	244	1963
熱媒体による直接接触伝熱(第2報) 気-液分散系における滞留量と滴径	元木 義和, 加戸 清治	18	4	175	1964

5.3 フラッシュ蒸留法

多段フラッシュ蒸発法に関する研究(第1報) 多段フラッシュ蒸発法に関する一考察	石川 哲三	17	6	298	1964
多段フラッシュ蒸発法に関する研究(第2報) 多段フラッシュ蒸発装置の経済的考察	石川 哲三	19	2	98	1965

5.4 イオン交換膜法

(1) 膜特性

イオン交換膜に関する研究(第5報) イオン交換膜におけるカルシウムイオンの透過性	山辺 武郎, 田中 龍夫, 妹尾 学	14	5	238	1960
--	--------------------	----	---	-----	------

日本塩学会, 日本海水学会誌 第11巻～第20巻 総目次
昭和32(1957)年～昭和42(1967)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
イオン交換膜の特性に関する試験(第2報) キレート樹脂膜の電気化学的性質について	曾我 清己, 富沢 茂	16	1	24	1962
イオン交換膜に関する研究(第1報) 陰イオン交換膜における塩素イオンと硫酸イオンの選択透過性	安積 敬嗣, 白子 忠男, 堂野 礼三	16	5	234	1963
イオン交換膜に関する研究(第5報) 陽イオン交換膜に対する水素イオンとナトリウムイオンの選択透過性	白子 忠男, 安積 敬嗣	18	2	80	1964
イオン交換膜におけるカルシウムイオンの透過性(その2) 橋カケ度および交換基の影響	山辺 武郎, 斎藤 田鶴子, 高井 信治, 妹尾 学	18	3	122	1964
イオン交換膜の選択透過性に関する研究(第1報) 強塩基膜中の塩素イオンおよび硫酸イオンの挙動について	山本 秀夫	18	3	125	1964
イオン交換膜の選択透過性に関する研究(第2報) 塩素イオン, 硫酸イオンの選択吸着性に対する交換基濃度の影響	山本 秀夫	18	4	193	1964
海水中のカリウムの採取に関する試験(第2報) イオン交換膜法におけるカリウムイオンの選択透過性	曾我 清己	19	4	249	1965
イオン交換膜に関する研究(第11報) ビニロン膜における塩素イオンと硫酸イオンの選択透過性	白子 忠男, 安積 敬嗣	19	5	288	1966
イオン交換透析に関する研究(第6報) イオン交換透析における陰イオン交換膜の塩素イオンと水酸イオンとの選択透過性	堂野 礼三, 安積 敬嗣	20	6	303	1967

(2) 海水濃縮

イオン交換膜による製塩に関する研究(第1報) 不均質膜を用いた海水の電解濃縮について	坂口 儀人, 山本 正弥, 福積 秀保, 清水 博, 小坂 謙治, 安積 敬嗣	15	4	162	1961
イオン交換膜による製塩に関する研究(第2報) 不均質膜を用いた海水の電解濃縮におよぼすかん水量の影響について	坂口 儀人, 山本 正弥, 沼田 覚, 清水 博, 小坂 謙治, 田中 米吉, 安積 敬嗣	15	5・6	237	1962
イオン交換膜による製塩に関する研究(第3報) 不均質膜を用いた海水の電解濃縮におよぼす電流密度の影響について	坂口 儀人, 山本 正弥, 沼田 覚, 清水 博, 小坂 謙治, 田中 米吉, 安積 敬嗣	16	1	20	1962
イオン交換膜による製塩に関する研究(第4報) 均質膜を用いた海水の電解濃縮について	清水 博, 佐藤 章, 小坂 謙治, 坂口 儀人, 山本 正弥, 沼田 覚, 安積 敬嗣	16	3	127	1962
イオン交換膜による製塩に関する研究(第5報) 生成かん水の濃度と濃縮電力におよぼす温度の影響	清水 博, 小坂 謙治, 水本 和智, 坂口 儀人, 沼田 覚, 安積 敬嗣	17	2	88	1963
イオン交換膜に関する研究(第23報) イオン交換膜法海水濃縮におけるスケール発生について	山根 礼一, 水谷 幸雄, 市川 睦, 佐田 俊勝	18	2	73	1964

日本塩学会, 日本海水学会誌 第11巻～第20巻 総目次
昭和32(1957)年～昭和42(1967)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
イオン交換膜に関する研究(第14報) イオン交換膜法によるかん水の組成	白子 忠男, 堂野 礼三, 高田 英資, 安積 敬嗣, 高嶋 四郎	20	3	140	1966
イオン交換膜に関する研究(第25報) ペースト法イオン交換膜の海水濃縮特性	山根 礼一, 佐田 俊勝, 水谷 幸雄	20	6	313	1967
イオン交換膜に関する研究(第26報) ペースト法イオン交換膜の諸特性と海水濃縮特性の解析	山根 礼一, 本村 浩次, 佐田 俊勝, 水谷 幸雄	20	6	327	1967

(3) その他

イオン交換透析に関する研究(第1報) 陰イオン交換膜を通しての塩素イオンの透過	安積 敬嗣, 堂野 礼三	16	5	230	1963
イオン交換透析に関する研究(第2報) 陽イオン交換膜を通るカルシウムイオンのイオン交換透析	安積 敬嗣, 堂野 礼三	16	6	275	1963
イオン交換透析(第3報) 陽イオン交換膜を用いる硬水軟化法	安積 敬嗣, 堂野 礼三	17	2	92	1963
イオン交換膜法に関する研究(第8報) イオン交換膜法による硫酸溶液の電解濃縮	白子 忠男, 堂野 礼三, 安積 敬嗣	18	4	189	1964
イオン交換膜法に関する研究(第9報) イオン交換膜を用いる硫酸ナトリウム溶液の電解濃縮における硫酸添加の影響	白子 忠男, 安積 敬嗣	18	5	223	1965
イオン交換透析に関する研究(第8報) 陰イオン交換膜に対する種々の塩化物の拡散透過	安積 敬嗣, 堂野 礼三	20	2	93	1966
イオン交換膜に関する研究(第13報) イオン交換膜法による水道水の脱塩	高田 英資, 安積 敬嗣, 高嶋 四郎	20	3	135	1966

5.5 冷凍およびガスハイドレート法

凍結濃縮装置について	岡部 豊彦	11	4	180	1957
ガスハイドレート法による海水, かん水の濃縮(第1報) フロンガスによるハイドレートの生成について	橋爪 正男, 岡本 速雄, 中馬 昭久, 清水 聆	17	4	174	1963
ガスハイドレート法による海水, かん水の濃縮(第3報) ハイドレート結晶のX線回折	斎藤 進, 安藤 嘉教	18	3	131	1964
ガスハイドレート法による海水, かん水の濃縮(第5報) ハイドレート結晶の比重について	斎藤 進, 貞永 和男	18	4	180	1964
ガスハイドレート法による海水, かん水の濃縮(第6報) ジクロロモノフルオルメタン蒸気-水間の伝熱係数について	斎藤 進, 山中 弘久, 橋本 壽夫	18	4	184	1964
ガスハイドレート法による海水, かん水の濃縮(第7報) ハイドレート剤の水および食塩水への溶解度	斎藤 進, 田中 頼男	19	1	23	1965

日本塩学会, 日本海水学会誌 第11巻～第20巻 総目次
昭和32(1957)年～昭和42(1967)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
ガスハイドレート法による海水, かん水の濃縮 (第8報) ハイ ドレートの結晶核について	斎藤 進, 貞永 和男	20	3	146	1966
海水の冷凍脱塩に関する研究 (第3報) 氷粒子層の遠心脱水に ついて	川崎 成武, 小水 秀男	20	4	219	1967
ガスハイドレート法による海水, かん水の濃縮 (第9報) 直接 接触, 連続式攪拌槽におけるジクロールモノフルオルメタンハ イドレートの結晶成長	斎藤 進, 安藤 嘉教	20	6	338	1967

5.6 分析化学

(1) ナトリウムおよびカリウム

粗製塩中ナトリウムの新直接容量分析方法	河村 文一, 並木 博	11	1	50	1957
ナトリウム, テトラフェニルボロンによる食塩中のカリウムの 定量	山崎 正雄	12	1	47	1958
塩の分析に関する研究 (第13報) Mg 1-naphthylamine-8- sulfonateによる海かん水中のナトリウムの重量分析	清水 和雄, 武本 長昭	12	6	316	1958
製塩に関する迅速分析法の研究 (第8報) 四フェニルホウ素法 によるカリウムイオンの光度滴定	岡 宗次郎, 武藤 義一, 和田 芳裕	14	4	179	1960
ペリ酸ナトリウムの臭素化滴定	武本 長昭	14	5	247	1960
ナトリウムテトラフェニルホウ素によるカリウムの容量分析に ついて	村上 敏治	19	3	149	1965

(2) マグネシウムおよびカルシウム

EDTA法による食塩中カルシウム定量の新指示薬DHTA	河村 文一	11	3	142	1957
共存するマグネシウムおよびカルシウムの相互定量法の研究 (第1報) EDTA法およびチタンイエロー法について	緒方 英世, 廣井 功	12	3	147	1958
製塩に関する迅速分析法の研究 (第10報) フェナゾによる食塩 中のマグネシウムの光度定量	武藤 義一, 和田 芳裕	18	2	59	1964

(3) 硫酸イオン

海塩工業関係試料中の硫酸根の容量分析法の検討 (第1報) ロ ジゾン酸ナトリウムを指示薬とする滴定法について	宇野 昌平	11	3	144	1957
製塩に関する迅速分析法の研究 (第7報) ロジゾン酸バリウム による苦汁, かん水および食塩中の硫酸イオンの光度定量法	岡 宗次郎, 武藤 義一, 和田 芳裕	13	6	312	1959
EDTAによる食塩中の硫酸根の迅速分析法	江川 勉, 田淵 重造	14	4	171	1960

日本塩学会, 日本海水学会誌 第11巻～第20巻 総目次
 昭和32(1957)年～昭和42(1967)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
製塩に関する迅速分析法の研究 (第9報) EDTA法による硫酸イオンの定量法 (食塩その他への応用)	岡 宗次郎, 武藤 義一, 和田 芳裕	14	5	251	1960
Ba-EDTAによる精製塩中の硫酸ナトリウムの直接定量法	江川 勉, 工藤 妙子, 田淵 重造	15	5・6	232	1962

(4) 微量成分

食塩並に副産物中に含まれる微量成分の定量: 鉄およびアルミニウム	岡 宗次郎, 和田 芳裕	11	3	139	1957
海水中の臭素イオンの新定量法	石橋 雅義, 重松 恒信, 柴田 正三	11	5	275	1957
リン酸イオンのモリブデン青による定量方法について	河村 文一, 並木 博	12	6	302	1958
海水, かん水およびにがり中の有機物質	松下 浩, 佐藤 正子	13	3	110	1959
工業用塩中の微量のバナジウムの定量法の検討	河村 文一, 松本 知達, 袖山 喜美子	17	3	115	1963
海水中のチタンの定量	重松 恒信, 西川 泰治, 日下部 富夫	17	5	232	1964
黒鉛電極中のバナジウムの吸光光度定量	河村 文一, 並木 博, 山本 一雄	18	1	19	1964
製塩に関する迅速分析法の研究 (11報) N-ベンゾイル-N-フェニルヒドロキシルアミンによる食塩中の鉄の光度定量	武藤 義一, 和田 芳裕	18	2	63	1964
食塩中の微量成分に関する研究 (第15報) ジエチルジチオカルバミン酸銀による食塩中のヒ素の定量	尾方 昇, 清水 和雄	18	2	69	1964
ホルムアルドキシムによる海塩中のマンガンの吸光光度定量	尾方 昇, 井上 信子	18	5	227	1965

(5) その他

赤外線加熱による食塩の迅速水分定量	原田 武夫	11	2	112	1957
X線回析による苦汁製品の分析 (第3報) 硫酸マグネシウムの分析	高嶋 四郎, 萩野 友治, 橋詰 源蔵	11	3	149	1957
X線回析による苦汁製品の分析 (第4報) カーナリットおよび塩化カリウムの分析	高嶋 四郎, 橋詰 源蔵, 萩野 友治	11	3	153	1957
食塩中の不溶解分定量の一改良法について	清水 和雄, 山崎 正雄	11	4	212	1957
かん水せんごうの化学的考察 (第5報) 海洋塩の分析	秋本 信吉	15	1	23	1961
有機示差熱分析に関する研究 (第3報) l-酸性グルタミン酸ナトリウムと食塩との混合物の示差熱分析	高嶋 四郎, 安積 敬嗣, 前田 嘉道	18	1	14	1964
有機示差熱分析に関する研究 (第4報) ステアリン酸マグネシウムの生成の示差熱分析による研究	高嶋 四郎, 安積 敬嗣	18	3	117	1964
有機示差熱分析に関する研究 (第6報) 食塩と酸性グルタミン酸ナトリウムとの混合物の熱天秤による分析	前田 嘉道, 安積 敬嗣, 高嶋 四郎	19	5	283	1966

日本塩学会, 日本海水学会誌 第11巻～第20巻 総目次
 昭和32(1957)年～昭和42(1967)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
5.7 無機製造化学					
(1) 食塩					
マンガン塩類添加による食塩の品質改良について (第2報) (多価アルコール併用の効果)	杉 二郎, 清水 和雄, 桜井 照夫	11	4	197	1957
製塩工場の廃物から食塩の製造に関する研究	坂場 博	11	5	240	1957
国内塩の洗浄による不純物の除去について	綾井 政雄, 古沢 勝	13	2	59	1959
高純度試薬塩化ナトリウムの製造について (第4報) イオン交換樹脂による標準試薬塩化ナトリウムの精製について	遠山 一郎, 中村 富三	14	3	121	1960
食塩の乾燥に関する試験 (第1報) 食塩の乾燥器の比較について	降旗 作衛, 尾川 照雄, 一瀬 弥与蔵	14	4	193	1960
食塩の乾燥に関する試験 (第2報) 気流乾燥器の性能について	降旗 作衛, 一瀬 弥与蔵, 磯崎 満	14	5	217	1960
食塩の乾燥に関する試験 (第4報) 気流乾燥器の乾燥管形状および低風速における性能について	諏訪 小一郎, 一瀬 弥与蔵, 磯崎 満	14	6	293	1961
食塩固結防止剤コロイド性炭酸カルシウム添加に応用したテーブルフィーダー	斎藤 孝平, 脇元 光夫, 久須見 弘, 平石 武司	15	2	86	1961
食塩の乾燥に関する試験 (第6報) 連続式流動層における食塩の乾燥特性について	諏訪 小一郎, 一瀬 弥与蔵, 磯崎 満	15	5・6	215	1962
V型混合機の食塩への適用例	斎藤 孝平, 平石 武司	15	5・6	220	1962
食塩の商品価値向上に関する試験 (第1報) 各地生産食塩 (家庭用) の流動性について	池田 美登, 山下 昭典, 福田 隆, 小林 秀雄, 工藤 妙子, 吉村 徳衛門, 林 順一, 田淵 重造	17	4	178	1963
食塩の商品価値向上に関する試験 (第2報) 食卓塩中のシリカゲル必要量について	山下 昭典, 福田 隆, 小方 孝憲	17	4	190	1963
食塩中の異物除去に関する試験 (第3報) 湿式磁気選別機によるスラリー工程中の鉄粉除去	長岡 幸男, 相田 四郎, 富沢 茂	19	1	33	1965
(2) カリウム塩					
苦汁並びにかん水中のカリウムのジピクリルアミン塩としての採取に関する研究	石橋 喜代司	11	1	62	1957
苦汁工場における硫酸カリの製法	坂本 佳六	11	5	248	1957

日本塩学会, 日本海水学会誌 第11巻～第20巻 総目次
昭和32(1957)年～昭和42(1967)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
海水, かん水およびにがり中の有機物質かん水およびにがりの石灰処理に関する研究 (第3報) マグネシウム除去にがりより塩化カリの採取について	綾井 政雄, 古沢 勝	13	4	198	1959
海洋塩類に関する研究 (第5報) NS Salt Bの加水分解による硫酸カリの製造について	中山 道夫	14	3	135	1960
製塩副産炭酸カリおよび炭酸マグネシウムの製造について (第4報) エンゲル塩の諸分解法による炭酸カリ, 硫酸カリの製造について	小川 恒彦, 新田 健三	16	1	3	1962
製塩副産炭酸カリおよび炭酸マグネシウムの製造について (第5報) エンゲル塩の煅焼による炭酸カリの製造について	小川 恒彦, 新田 健三	16	1	8	1962
苦汁カリ塩の固結について (1) 苦汁カリ塩の組成	門田 稔, 大川原 武, 岡 俊平	18	1	36	1964
カーナリットからシンゲニットの製造について	坂本 佳六	18	4	164	1964

(3) マグネシウム塩

焼成ドロマイト乳と苦汁との反応速度について	上原 実, 杉山 幹雄, 宗 義彦	11	1	36	1957
活性ケイ酸マグネシウムの合成について	室谷 寛	11	2	97	1957
カルシウムカーバイドと塩化マグネシウムより水酸化マグネシウムの生成 (第1報)	高嶋 四郎, 藤本 忠男	11	2	102	1957
水マグの肥効と硼酸の関係について	玉井 理, 林 龍三, 山田 芳雄, 平井 敬蔵	11	3	159	1957
カルシウムカーバイドと塩化マグネシウムより水酸化マグネシウムの生成 (第2報)	高嶋 四郎, 藤本 忠男	11	5	254	1957
カルシウムカーバイドと塩化マグネシウムより水酸化マグネシウムの生成 (第3報)	高嶋 四郎, 藤本 忠男	11	5	259	1957
水酸化マグネシウムの精製	室谷 寛	11	5	263	1957
海水マグネシアによるマグネシア化 (過リン酸石灰の研究)	永井 彰一郎, 大島 信正, 色川 喜理	11	6	314	1957
製塩副産炭酸カリおよび炭酸マグネシウムの製造について (第1報)	小川 恒彦, 新田 健三	12	2	68	1958
カルシウムカーバイドと塩化マグネシウムより水酸化マグネシウムの生成 (第4報) カルシウムカーバイドと塩化マグネシウムより直説法および間接法 (二段法) により生成する水酸化マグネシウムの比較	高嶋 四郎, 白子 忠男	12	4	180	1958
水マグ使用によるリン酸マグネシウム肥料の研究	永井 彰一郎, 藤谷 淳一, 長沼 健二	12	5	276	1958

日本塩学会, 日本海水学会誌 第11巻～第20巻 総目次
昭和32(1957)年～昭和42(1967)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
製塩副産炭酸カリおよび炭酸マグネシウムの製造について (第2報)	小川 恒彦, 新田 健三	12	6	296	1958
製塩副産炭酸カリおよび炭酸マグネシウムの製造について (第3報)	小川 恒彦, 新田 健三	13	1	3	1959
水マグ利用によるリン酸カリウムマグネシウム肥料の研究	永井 彰一郎, 藤谷 淳一, 徳竹 久治	13	5	266	1959
吸着法によるホウ酸含有水酸化マグネシウムの製造	永井 彰一郎, 河村 文一, 並木 博, 山内 省三	14	6	275	1961
ホウ酸吸着水酸化マグネシウムより得たマグネシアクリンカーの熱的性質	荒井 康夫, 永井 彰一郎	15	3	123	1961
水酸化マグネシウムから塩基性炭酸マグネシウムの製造	松野 武雄, 尾上 秀夫, 佐野 利夫	17	4	167	1963
水酸化マグネシウムとリン酸アンモニウムとの反応によるリン酸マグネシウムアンモニウムの合成 (1)	加野 直平, 高奥 昌文, 青野 求	18	4	168	1964
水酸化マグネシウムとリン酸アンモニウムとの反応によるリン酸マグネシウムアンモニウムの合成 (2)	加野 直平, 青野 求	19	4	246	1965

(4) カルシウム塩

缶内石膏の利用に関する研究	永井 彰一郎	11	3	146	1957
製塩化学石膏の精製について	永井 彰一郎, 荒井 康夫, 小条 孝子	12	2	61	1958
浮選による石膏の分離	松野 武雄, 門田 稔, 石黒 雄一	12	2	73	1958
浮選による製塩副産石膏の回収	松野 武雄, 門田 稔, 堀井 孝章	12	6	291	1958
真空蒸発缶製塩スケールの食塩溶液処理による結晶石膏の生成	横山 義男	13	2	77	1959
真空蒸発缶製塩スケールを原料とする連続処理による石膏結晶の成長	横山 義男	13	2	82	1959
製塩セッコウによるセッコウセメントの製造について	広田 正義, 藤井 知, 伊東 信之祐	20	6	308	1967

5.8 一般化学

(1) 相律

海洋塩類に関する研究 (第1報) Na-K-Mg-Cl-SO ₄ -H ₂ O系より析出する複塩について	中山 道夫	11	1	25	1957
カリ複塩の基礎的研究	岡 俊平	11	3	147	1957
海かん水濃縮の基礎的研究	小川 茂, 谷本 明	11	3	171	1957
海洋塩類に関する研究 (第2報) Na-K-Mg-Ca-Cl-SO ₄ -H ₂ O系より析出する複塩について	中山 道夫	11	4	189	1957

日本塩学会, 日本海水学会誌 第11巻～第20巻 総目次
 昭和32(1957)年～昭和42(1967)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
苦汁から硫酸カリの製造について (第4報) カーナリットと苦汁カリ塩との複分解によるレオニットの製造条件の図計算法について	岡 俊平	11	5	242	1957
行列式を用いた海水濃縮過程の相律計算	原田 武夫	11	6	305	1957
海水, かん水およびにがりの石灰処理に関する研究 (第1報) マグネシウム除去かん水およびにがりの平衡について	綾井 政雄	13	1	25	1959
海水, かん水およびにがりの石灰処理に関する研究 (第2報) カルシウムヒドロオキシクロライド複塩の平衡について	綾井 政雄, 古沢 勝	13	1	34	1959
海洋に関する化学的研究 (第82報) 25°Cにおける海水濃縮過程について	原田 武夫	13	4	207	1959
海洋に関する化学的研究 (第83報) 110°Cにおける海水濃縮過程について	原田 武夫	13	5	238	1959
海洋塩類に関する研究 (第3報) 水酸化マグネシウムを含む新塩基性三重複塩について	中山 道夫	13	6	319	1959
海洋塩類に関する研究 (第4報) にがりよりNS Salt Bの採取について	中山 道夫	14	1	22	1960
アンモニウム基を含む塩類に関する研究 (第1報) 水酸化マグネシウムを含む新塩基性三重複塩について	中山 道夫, 松尾 哲男	14	4	168	1960
25°Cにおける天然ガスかん水の恒温蒸発についての相律的検討	岡 俊平, 真島 久之助, 手島 実枝	14	5	227	1960
アンモニウム基を含む塩類に関する研究 (第2報) $(K, NH_4)_2SO_4 \cdot 2MgSO_4$ の一般式で表される複塩について	中山 道夫, 松尾 哲男	14	6	288	1961
アンモニウム基を含む塩類に関する研究 (第3報) Mg, NH_4, SO_4, OH , および H_2O よりなる新複塩について	中山 道夫, 松尾 哲男	15	2	78	1961
$NaCl-KCl-MgCl_2-CaCl_2-H_2O$ 系平衡図の簡略とその応用	岡 俊平, 真島 久之助, 手島 実枝	15	3	118	1961
アンモニウム基を含む塩類に関する研究 (第4報) 複塩 $(K, NH_4)_2SO_4 \cdot 2MgSO_4$ の生成によるにがり中のカリウム採取について	中山 道夫, 松尾 哲男	15	4	158	1961
天然ガスかん水に関する研究 (第3報) 25°Cにおける天然ガスかん水の恒温蒸発実験	真島 久之助, 手島 実枝, 岡 俊平	18	1	32	1964
にがりに関する研究 (第13報) カーナライト添加による脱硫にがりの濃縮処理について	綾井 政雄	18	6	276	1965

日本塩学会, 日本海水学会誌 第11巻～第20巻 総目次
昭和32(1957)年～昭和42(1967)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
にがりに関する研究 (第14報) カーナライト添加による脱硫にがりの冷却処理について	綾井 政雄	18	6	282	1965
イオン交換膜かん水の濃縮に関する研究 (第1報) イオン交換膜かん水の組成について	本山 正夫, 平野 武蔵, 岡 俊平	19	3	164	1965
製塩における缶内液について (第1報) 海洋塩5成分系データの再整理	増沢 力	20	1	20	1966
製塩における缶内液について (第2報) 精製かん水から析出するカルシウム複塩について	増沢 力, 高地 行夫	20	1	44	1966
食塩の固結機構について (第7報) 並塩の附着液と缶内液組成	増沢 力, 米井 祥男	20	4	205	1967
イオン交換法かん水の利用に関する試験 (第3報) 各種イオン交換かん水の蒸発濃縮	松尾 哲男, 長南 康子	20	5	247	1967
イオン交換膜かん水の濃縮に関する研究 (第2報) イオン交換膜かん水の25℃における恒温蒸発の相律的解析	本山 正夫, 岡 俊平	20	5	254	1967
製塩における缶内液に関する研究 (第4報) にがりおよび母液沈でん物について	増沢 力	20	5	263	1967
製塩における缶内液に関する研究 (第5報) 食塩結晶中の不純物について	米井 祥男, 増沢 力	20	5	269	1967

(2) 微量成分の挙動

食塩中の微量成分に関する研究 (第1報) 国内塩中の銅, 亜鉛, 鉄およびアルミニウムについて	清水 和雄, 山崎 正雄	12	1	30	1958
食塩中の微量成分に関する研究 (第3報補遺) 国内塩中のマンガンについて, (第4報) 0-フェナンスロリンによる食塩中の鉄の定量について, (第5報) 食塩中の鉛について	清水 和雄	12	5	261	1958
食塩中の微量成分に関する研究 (第6報) 食塩中のチタン含有量について	清水 和雄	13	1	44	1959
食塩中の微量成分に関する研究 (第7報) 食塩中のコバルトおよびニッケル含有量について	清水 和雄	13	1	49	1959
食塩中の微量成分に関する研究 (第8報) 食塩中のモリブデン含有量について	清水 和雄	13	2	72	1959
ボイラ用水の化学処理に関する基礎研究 (第2報) ヒドラジンによる水中溶解酸素の除去について	斎藤 弘	13	3	116	1959

日本塩学会, 日本海水学会誌 第11巻～第20巻 総目次
 昭和32(1957)年～昭和42(1967)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
海水およびかん水中の微量成分に関する研究 (第1報) 銅, 亜鉛および鉛含有量について	清水和雄	13	3	120	1959
海水およびかん水中の微量成分に関する研究 (第2報) アルミニウムおよび鉄含有量について	清水和雄	13	3	124	1959
海水およびかん水中の微量成分に関する研究 (第3報) マンガン含有量について	清水和雄	13	3	130	1959
海水およびかん水中の微量成分に関する研究 (第4報) モリブデン含有量について	清水 和雄	13	3	134	1959
製塩における缶石中の微量成分に関する研究 (第1報) 銅, 亜鉛および鉛含有量について	清水 和雄	13	4	179	1959
製塩における缶石中の微量成分に関する研究 (第2報) アルミニウムおよび鉄含有量について	清水 和雄	13	4	182	1959
製塩における缶石中の微量成分に関する研究 (第3報) マンガン含有量について	清水 和雄	13	4	184	1959
製塩における缶石中の微量成分に関する研究 (第4報) モリブデン含有量について	清水 和雄	13	4	185	1959
にがり中の微量成分に関する研究 (第1報) 銅, 亜鉛および鉛含有量について	清水 和雄	13	5	229	1959
にがり中の微量成分に関する研究 (第2報) アルミニウムおよび鉄の含有量ならびに鉄と溶存炭水化物との関係について	清水 和雄	13	5	231	1959
にがり中の微量成分に関する研究 (第3報) マンガン含有量について	清水 和雄	13	5	235	1959
にがり中の微量成分に関する研究 (第4報) モリブデン含有量ならびに硼酸含有量との関係について	清水 和雄	13	5	236	1959
食塩中の微量成分に関する研究 (第9報) 食塩中のクロムおよびバナジウム含有量について	清水 和雄	13	6	298	1959
製塩過程における微量成分の行動に関する研究 (第1報) 海水の濃縮による微量元素の移行について	清水 和雄	14	1	9	1960
製塩過程における微量成分の行動に関する研究 (第2報) 製塩工程における微量元素の行動について	清水 和雄	14	3	125	1960
海水, かん水およびにがり中のウラン	松下 浩, 佐藤 正子	14	3	153	1960

日本塩学会, 日本海水学会誌 第11巻～第20巻 総目次
 昭和32(1957)年～昭和42(1967)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
海水の利用に関する研究(第13報) 海水中の重炭酸カルシウムのアルカリによる除去	鈴木 寛, 井上 安弘	14	4	190	1960
水酸化マグネシウムへのホウ酸の吸着	永井 彰一郎, 河村 文一, 並木 博	14	5	234	1960
海水の利用に関する研究(第14報) 海水, かん水, にがり等よりホウ素化合物抽出法の研究	鈴木 寛, 中村 精二	14	6	279	1961
製塩過程における微量成分の行動に関する研究(第3報) 製塩工程におけるフッ素の行動について	清水 和雄, 渡部 忠行	14	6	283	1961
海水, かん水およびにがり中のホウ素に関する研究(第1報) 海水, かん水およびにがり中のホウ素の行動について	綾井 政雄, 池田 順枝	15	1	13	1961
海水, かん水およびにがり中のホウ素に関する研究(第2報) 水酸化マグネシウムに対するホウ素の吸着についての検討	綾井 政雄, 池田 順枝	15	1	17	1961
海水中の微量成分の利用に関する研究(第1報) にがり中のモリブデン, バナジウムおよびウランの分離	清水 和雄, 尾方 昇	16	1	13	1962
海水中の微量成分の利用に関する研究(第2報) にがり中のモリブデンの分離	清水 和雄, 尾方 昇	16	3	122	1962
かん水, 苦汁よりホウ素の分離採取の研究(第1報) 水酸化第二鉄へのホウ素の吸着について	村上 敏治, 石原 良雄	16	6	264	1963
海水, および食塩中の銅, 亜鉛および鉛の除去	尾方 昇	17	5	239	1964
海水濃縮過程のストロンチウムの挙動	重松 恒信, 田伏 正之, 村上 敏治, 上杉 勝弥	17	6	294	1964
苦汁よりホウ素の分離採取の研究(第2報) 濃厚苦汁のホウ素の水酸化第二鉄への吸着について	村上 敏治, 石原 良雄	18	3	105	1964
苦汁よりホウ素の分離採取の研究(第3報) 濃厚苦汁, 脱硫苦汁より水酸化第二鉄に吸着するホウ素の脱離について	村上 敏治, 石原 良雄	18	3	110	1964
海水濃縮過程のリン酸の挙動	重松 恒信, 上杉 勝弥, 田伏 正之	18	6	269	1965
かん水中のストロンチウムの沈殿挙動	重松 恒信, 田伏 正之, 村上 敏治, 上杉 勝弥	18	6	272	1965
かん水中のストロンチウムの沈殿分離	重松 恒信, 田伏 正之, 村上 敏治, 上杉 勝弥	19	2	107	1965
製塩工程における不純物に関する研究(第2報) 製塩工程における鉄の挙動	尾方 昇	19	2	111	1965
海水濃縮過程の希土類元素の挙動	重松 恒信, 上杉 勝弥, 田伏 正之	19	3	155	1965

日本塩学会, 日本海水学会誌 第11巻～第20巻 総目次
昭和32(1957)年～昭和42(1967)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
海水中の微量成分の利用に関する研究(第4報)凝集処理法による海水微量成分の採取におけるpHの影響について	尾方 昇	19	3	158	1965

(3) 結晶

活性ケイ酸マグネシウムの吸着能と形態構造	室谷 寛, 白崎 高保, 小平 博之	11	4	204	1957
水酸化マグネシウムの不安定状態の研究	室谷 寛, 白崎 高保, 小平 博之	11	4	208	1957
特殊な塩基性炭酸マグネシウムの軽質性と結晶状態	室谷 寛, 白崎 高保	12	2	78	1958
ケイ酸マグネシウムの活性化機構	室谷 寛, 白崎 高保	12	4	198	1958
KClの結晶核発生に及ぼす添加物の影響について	白崎 高保, 室谷 寛	13	5	261	1959
添加物含有溶液中におけるKCl八面体形結晶の成長について	白崎 高保, 室谷 寛	14	1	3	1960
塩化カリウムの結晶構造形態に及ぼす成長添加物の影響	室谷 寛, 白崎 高保	14	5	223	1960
添加物を含む塩化カリウムの結晶状態	室谷 寛, 白崎 高保, 北原 昭勝	15	1	27	1961
ガラス状ポリリン酸ナトリウムについて	室谷 寛, 後藤 忠俊	17	6	306	1964
食塩結晶における混入異種イオンの挙動(その1)	角野 義孝	19	6	327	1966
食塩結晶における混入異種イオンの挙動(その2)	角野 義孝	20	2	79	1966

(4) 固結

食塩の固結について(第1報)定常条件における食塩の固結現象	江崎 茂, 杉山 幹雄	14	4	199	1960
食塩の固結機構について(第1報)フェロシアン塩添加食塩の固結防止機構	水谷 嘉隆, 増沢 力	14	6	297	1961
食塩の固結について(第2報)水分変化における食塩の固結現象	江崎 茂, 杉山 幹雄	14	6	303	1961
食塩の固結防止剤について(第1報)食塩の固結防止剤の選定	江崎 茂, 杉山 幹雄, 小林 秀雄, 山本 秀夫	15	1	32	1961
食塩の固結防止剤について(第2報)固結防止剤添加塩の堆積	江崎 茂, 小林 秀雄, 山本 秀夫	15	1	38	1961
食塩の固結防止剤について(第3報)クエン酸鉄アンモニウムその他による食塩の固結防止機構	江崎 茂, 小林 秀雄, 山本 秀夫, 林 順一	16	2	63	1962
食塩の固結防止剤について(第4報)押出式遠心分離機を利用した固結防止剤の食塩への添加工業化試験	岡本 速雄, 元木 義和, 田中 頼男, 小林 秀雄	16	2	73	1962
食塩の固結防止剤について(第5報)V型およびリボン型混合機を利用した固結防止剤の食塩への添加工業化試験	岡本 速雄, 元木 義和, 小林 秀雄	16	2	79	1962
連続押出式遠心分離機内における上質塩固結防止剤-クエン酸鉄アンモニウム溶液-の添加試験	斎藤 孝平, 脇元 光夫, 久須見 弘, 千葉 聖一, 小川 晃, 関野 一男	16	2	86	1962

日本塩学会, 日本海水学会誌 第11巻～第20巻 総目次
昭和32(1957)年～昭和42(1967)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
食塩の固結について(第4報) 空隙率から見た食塩の粉体的性質	杉山 幹雄	16	3	131	1962
食塩の固結防止剤に関する試験(第11報) クエン酸鉄アンモニウム添加塩の堆積	江崎 茂, 貞永 和男, 田中 頼男, 重永 清, 中原 倉吉	16	4	187	1962
食塩の固結について(第5報) 食塩層の伝熱	杉山 幹雄	17	5	250	1964
食塩の固結について(第6報) 定常条件下の食塩の固結現象における粒径および水分の影響	杉山 幹雄	18	5	211	1965
食塩の固結について(第7報) 食塩の固結機構	杉山 幹雄	18	5	217	1965
食塩の固結機構について(第2報) 食塩中の微量フェロシアン塩の定量について	米井 祥男, 増沢 力	18	6	263	1965
食塩の固結機構について(第3報) 25°Cおよび50°Cにおける $\text{Na}^+, \text{K}^+, \text{Cl}^-, \text{Fe}(\text{CN})_6^{4-} \cdot \text{H}_2\text{O}$ の互変二対塩系	増沢 力	19	4	241	1965
食塩の固結機構について(第4報) 食塩の表面附着液の温度変化についての一考察	増沢 力	20	2	67	1966
食塩の固結機構について(第6報) 食塩の附着液組成と固結傾向	増沢 力	20	3	122	1966

(5) 海塩の性質

マグネシウムとカルシウムを除去した海水とかん水の諸性質について	岩田 重雄	11	4	185	1957
食塩の白色度について(第2報) 標本塩(公社収納最低基準塩)の白色度について	原田 武夫, 増沢 力	11	5	268	1957
かん水, 「にがり」のpHについて(第1報)	原田 武夫, 武本 長昭	12	6	311	1958
海かん水の蒸気圧	鈴木 義孝	14	1	41	1960
食塩の固結について(第3報) 無機塩類混合飽和溶液の蒸気圧降下	杉山 幹雄	15	3	128	1961
溶解における液温降下よりの食塩溶解速度の測定	鈴木 義孝	15	5・6	222	1962
食塩の商品価値向上に関する試験(第3報) 米国市販食料塩の理化学性について	山下 昭典, 福田 隆, 工藤 妙子, 林 順一	17	5	258	1964
食塩の固結機構について(第5報) 食塩の表面附着液の蒸気圧についての一考察	増沢 力	20	2	72	1966
電解法による水酸化マグネシウムのX線的研究	天野 一雄, 岡 俊平	20	4	230	1967

日本塩学会, 日本海水学会誌 第11巻～第20巻 総目次
昭和32(1957)年～昭和42(1967)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
(6) スケール					
塩類溶液のクリーニングまたはスケーリングの抑制剤について	室谷 寛, 白崎 高保, 小平 博之	11	1	20	1957
製塩における缶石の化学組成について	清水 和雄, 杉田 静雄	12	1	3	1958
結晶種添加法による缶石附着防止について(第4報)	杉 二郎, 清水 和雄, 清水 幸夫, 村上 正祥	12	2	96	1958
結晶種添加法による缶石附着防止について(第5報) 硫酸カルシウム結晶形の判定法	清水 和雄, 村上 正祥, 清水 幸夫, 竹中 況三	12	3	130	1958
かん水予熱器の缶石生成とその防止に関する研究(第1報) ヘキサメタリン酸ソーダによるかん水予熱器の缶石防止について	杉 二郎, 清水 和雄, 杉田 静雄	15	1	3	1961
結晶缶内液懸濁硫酸石灰の測定比重への影響	斎藤 孝平	15	2	81	1961
超多重効用真空式製塩に関する試験(第1報) 半水塩析出域の石こう種添加について	岡本 速雄, 江川 勉, 岸野 宜人, 山城 哲夫, 田淵 重造	16	4	181	1962
かん水予熱器の缶石生成とその防止に関する研究(第2報) ヘキサメタリン酸ソーダ添加法によるかん水予熱器の缶石防止試験	杉 二郎, 清水 和雄, 杉田 静雄	17	2	69	1963
(7) イオン交換					
硼酸硼砂のポリビニルアルコールに対する吸着および脱離	石橋 雅義, 江見 浩一, 長瀬 普	11	1	44	1957
ポリヘキシルの合成について(第1報) ポリスチレンのニトロ化に関する研究	斎藤 進, 飯島 正明	11	2	106	1957
陰イオン交換による人工海水(Na, Ca-Cl, SO ₄)の精製(第4報補遺)	山辺 武郎, 馬場 勉, 下條 うた子	11	2	119	1957
粘土のイオン置換(第3報)	小川 恒彦, 船田 周	11	3	158	1957
ポリヘキシルの合成について(第2報) ニトロポリスチレンよりポリヘキシルに至る反応	斎藤 進, 飯島 正明	12	1	15	1958
ホウ酸の海洋資源的研究(第2報) ホウ酸とオキシカルボン酸およびアルカリ土類金属との醋沈殿について	石橋 雅義, 江見 浩一, 松本 保, 坪井 清, 岡崎 郁子, 宗高 孚由子	12	4	219	1958
ホウ酸の海洋資源的研究(第3報) ポリビニルアルコールに対するホウ酸の吸着および脱離について	石橋 雅義, 江見 浩一, 松本 保, 渡辺 晋平, 三道 喜一郎	12	4	223	1958
ホウ酸の海洋資源的研究(第4報) 不溶化ポリビニルアルコールに対するホウ酸の吸着および脱離について(その1) ポリビニルグリセリンアセタールに対するホウ酸の吸着および脱離	石橋 雅義, 江見 浩一, 松本 保, 三道 喜一郎, 小見山 享	12	5	244	1958

日本塩学会, 日本海水学会誌 第11巻～第20巻 総目次
昭和32(1957)年～昭和42(1967)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
ポリビニルアルコール誘導体に対するハロゲンの吸着および脱離に関する研究 (第1報) ポリビニルグリセリンアセタールに対するヨウ素の吸着	石橋 雅義, 江見 浩一, 松本 保, 寺本 巍	12	5	256	1958
硼酸のイオン排除による食塩からの分離	山辺 武郎, 下条 うた子, 田中 米吉	12	5	272	1958
ボイラ用水の化学処理に関する基礎研究 (第1報) イオン交換処理剤の諸性質	斎藤 弘	13	2	90	1959
ボイラ用水の化学処理に関する基礎研究 (第3報) ボイラ用水中のケイ酸の除去に関する研究	斎藤 弘	13	4	165	1959
イオン交換体による放射性核種の処理に関する研究 (17) 海水中のセシウムのグリーンサンドによる吸着	重松 恒信, 大塩 敏樹	14	4	185	1960
カチオン交換性リン酸セルロースの製造について	室谷 寛	19	1	46	1965
重金属選択吸着樹脂について	松尾 哲男, 能村 恵美子	20	4	225	1967

(8) その他

海水の放射能測定に関する基礎的研究	三宅 泰雄	11	3	162	1957
海水中に溶存する元素量の規則性に就いて (第3報)	石橋 雅義, 東 慎之介	12	6	322	1958
海水前処理に関する研究 (第9報) 海水懸濁物の測定方法について	尾方 昇, 天神 信美, 井上 信子	20	5	277	1967

5.9 電気化学

海水, かん水中に溶存するマグネシウムおよびカルシウムの直接電解分離に関する研究 (第1報) 電解要因について	緒方 英世	12	2	85	1958
海水, かん水中に溶存するマグネシウムおよびカルシウムの直接電解分離に関する研究 (第2報) 海水の直接電解による溶存マグネシウム, カルシウム塩素量の変化と通電量との関係について	緒方 英世	12	4	204	1958
海水, かん水中に溶存するマグネシウムおよびカルシウムの直接電解分離に関する研究 (第3報) 海水の直接電解による溶存ナトリウム, カリウム, 硫酸イオン, 臭素量の変化と通電量との関係について	緒方 英世	13	1	9	1959
電解法による臭素の定量分析的研究 (第1報) 電解法による臭素酸イオンの生成について	緒方 英世	13	3	136	1959

日本塩学会, 日本海水学会誌 第11巻～第20巻 総目次
昭和32(1957)年～昭和42(1967)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
海水, かん水中に溶存するマグネシウム, カルシウムの直接電解分離に関する研究 (第4報) 海水の無隔膜電解による溶存マグネシウムカルシウム塩素量の変化について	緒方 英世	13	4	187	1959
電解法による臭素の定量分析的研究 (第2報) 臭素酸イオンの生成における共存物質の影響について	緒方 英世	13	5	272	1959
海水かん水中に溶存するマグネシウムおよびカルシウムの直接電解分離に関する研究 (第5報) 海かん水の直接電解による塩基性次亜塩素酸塩の生成について	緒方 英世	13	6	303	1959
海水かん水中に溶存するマグネシウムおよびカルシウムの直接電解分離に関する研究 (第6報) 溶存マグネシウム量と水素イオン濃度について	緒方 英世	14	1	17	1960
苦汁の電解利用に関する研究 (第1報) 過酸化鉛電極によるマグネシウム晒粉の電解生成	深沢 旭	15	2	89	1961
苦汁の電解利用に関する研究 (第2報) カ性ソーダの添加によるマグネシウム晒粉の電解製造	深沢 旭	15	2	96	1961
苦汁の電解利用に関する研究 (第3報) マグネシウム晒粉の電解製造条件	深沢 旭	15	3	111	1961
苦汁の電解利用に関する研究 (第4報) マグネシウム晒粉の電解製造における陽極消耗について (1) 過酸化鉛電極の消耗	深沢 旭	17	1	24	1963
苦汁の電解利用に関する研究 (第5報) マグネシウム晒粉の電解製造における陽極消耗について (2) 黒鉛電極の消耗	深沢 旭	17	1	34	1963
苦汁の電解利用に関する研究 (第6報) 新過酸化鉛電極によるマグネシウム晒粉の電解製造試験	深沢 旭	17	2	77	1963
にがりの電解利用に関する研究 (第7報) マグネシウム晒粉の化学組成および結晶性について	深沢 旭	17	2	81	1963
苦汁の電解利用に関する研究 (第8報) マグネシウム晒粉の熱分解について (1) 加熱温度および加熱時間の影響	深沢 旭	17	3	125	1963
苦汁の電解利用に関する研究 (第9報) マグネシウム晒粉の熱分解について (2) 熱天秤による加熱分解曲線	深沢 旭	17	3	131	1963
5.10 腐食防食					
ターボプロアーの材質について	下平 三郎	11	3	163	1957
不飽和ポリエステルによる防蝕塗装について	杉 二郎, 小穴 敬喜, 中山 秀夫	11	6	301	1957

日本塩学会, 日本海水学会誌 第11巻～第20巻 総目次
昭和32(1957)年～昭和42(1967)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
鉄鋼機器の化学処理に関する基礎研究 (第1報) 各種有機化合物の腐食抑制効果	斎藤 弘	13	5	225	1959
鉄鋼機器の化学処理に関する基礎研究 (第2報) 酸洗の諸条件とウロトロピンの腐蝕抑制効果	斎藤 弘	13	6	293	1959
鉄鋼機器の化学処理に関する基礎研究 (第3報) 酸洗による鉄鋼の機械的強度変化に対するウロトロピンの影響	斎藤 弘	14	1	35	1960
鉄鋼機器の化学処理に関する基礎研究 (第4報) タービン部品の酸洗処理	斎藤 弘	14	1	39	1960
亜鉛陽極による渦巻ポンプの陰極防食	斎藤 弘	14	3	145	1960
かん水予熱器の缶石生成とその防止に関する研究 (第3報) 海水, かん水中における軟鋼および銅の腐食に及ぼすヘキサメタリン酸ソーダの影響について	杉 二郎, 杉田 静雄, 深沢 浩子	17	3	118	1963
酸食インヒビターとしてのリン酸タンパク	青木 利夫, 安藤 嘉教, 八村 清江	19	3	168	1965

5.11 食品の利用

塩蔵魚の食塩浸透に及ぼす抗酸化剤の影響について (第1報)	浅川 末三	12	6	308	1958
塩蔵魚の食塩浸透に及ぼす抗酸化剤の影響について	浅川 末三	13	1	20	1959
食塩の道路への利用に関する研究 (第1報) 食塩の混入による土の性質の変化について	小川 恒彦, 船田 周, 中村 忠春, 橋本 静夫, 増井 典良	14	5	242	1960
土の物理性におよぼす塩化物の影響について	青木 利夫, 安藤 嘉教, 八村 清江	14	6	272	1961
土の物理性におよぼす塩化物の影響について (第2報) 食塩添加における突固め花崗土の透水性について	青木 利夫, 安藤 嘉教, 八村 清江	16	1	28	1962
食塩による土壌安定処理 (第6報) 塩処理土のセン断特性について	小倉 祐幸, 宇都 政幸	16	6	279	1963
食塩による土壌安定処理 (第7報) Puri法による置換性Na ⁺ の定量について	小倉 祐幸	16	6	288	1963
食塩の道路等への利用に関する研究 (第2報) 食塩混入による土の安定化の限界について	小川 恒彦, 船田 周, 中村 忠春, 橋本 静夫, 増井 典良	17	1	3	1963
食塩の道路, 運動場等への利用に関する研究 (第3報) 塩処理土の効果と費用について	船田 周, 小倉 祐幸, 桜井 照夫	17	1	7	1963
食塩による土壌安定処理に関する研究 (第8報) 関東ロームの表面処理について	高柳 淑子	17	1	18	1963

日本塩学会, 日本海水学会誌 第11巻～第20巻 総目次
 昭和32(1957)年～昭和42(1967)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
食塩の道路, 運動場等への利用に関する研究 (第4報) 置換性イオンの粘土の物理的性質に及ぼす影響について	船田 周, 小倉 祐幸	17	3	136	1963
食塩水の味について	蓮池 崇	17	3	150	1963
塩添加によるソイルセメントの安定処理	松下 浩, 玉置 昭道	18	1	27	1964
食塩による除雪融氷に関する研究 (第2報) 路面氷の融解剥離について	西田 正一, 竹中 況三, 米井 祥男	19	1	40	1965
塩添加によるソイルセメントの安定処理 (第2報) ソイルセメントの強度におよぼす塩添加の影響	松下 浩	19	2	122	1965
6. 資 料					

6.1 数表

畜産における微量元素の作用		11	5	279	1957
無機物の給与勧告量 (濃厚飼料中)		11	5	281	1957
本邦常用飼料中の無機物		11	5	281	1957
動物用ミネラル剤60g中の成分		11	5	282	1957

6.2 紹介

防府工場石膏製造工程 (1957年2月)		11	5	282	1957
製塩用蒸発装置の液位制御機器について (1)	日渡 幸雄	16	3	149	1962
製塩用蒸発装置の液位制御機器について (2)	日渡 幸雄	16	4	199	1962
米国の塩水淡水化の現状に関する講演会塩水局研究計画	W. Sherman Gillam	20	3	170	1966
米国における脱塩技術の現状	W. Sherman Gillam	20	3	172	1966
新しい諸法	W. Sherman Gillam	20	3	176	1966
脱塩操作における供給水源および廃水廃棄場所としての地下層の使用	Frank E. Clarke	20	3	179	1966

6.3 消息

アメリカ便り (II)	川原 鳳策	11	5	282	1957
-------------	-------	----	---	-----	------

6.4 文献紹介

1945～1956年に日本専売公社中央研究所 (塩研究部) 発行のもの		11	2	121	1957
Chemical Abstracts Vol. 49, No. 7～8	原田 武夫	11	4	218	1957
Chemical Abstracts Vol. 49, No. 9～11	原田 武夫	12	3	161	1958

日本塩学会, 日本海水学会誌 第11巻～第20巻 総目次
昭和32(1957)年～昭和42(1967)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
Chemical Abstracts Vol. 49, No. 12～17	原田 武夫	12	5	283	1958
Chemical Abstracts Vol. 49, No. 17～22	原田 武夫, 鈴木 清	13	6	328	1959
Chemical Abstracts Vol. 50, No. 1～11	原田 武夫, 鈴木 清	14	3	157	1960
Chemical Abstracts Vol. 50, No. 12～22	原田 武夫, 鈴木 清	14	5	257	1960
Chemical Abstracts Vol. 51, No. 1～22	鈴木 清	15	3	146	1961
Chemical Abstracts Vol. 52, No. 1～22	鈴木 清	15	5・6	270	1962
Chemical Abstracts Vol. 53, No. 1～22	鈴木 清	16	1	50	1962
Chemical Abstracts Vol. 54, No. 1～22	鈴木 清	16	6	293	1963
Chemical Abstracts Vol. 62, No. 1～10	斎藤 進	20	3	165	1966
Chemical Abstracts Vol. 63, No. 1～6	武本 長昭	20	4	239	1967
Chemical Abstracts Vol. 63, No. 7～13	廣井 功	20	5	294	1967
Chemical Abstracts Vol. 64, No. 1～6	斎藤 進	20	6	347	1967
塩関係日本特許題目	後藤 富士雄	11	5	283	1957
製塩関係特許抄録	中谷 守也	13	2	98	1959
製塩関係特許抄録	中谷 守也	13	4	216	1959
製塩関係特許抄録	中谷 守也	14	1	49	1960
製塩関係特許抄録	中谷 守也	14	4	211	1960
製塩関係特許抄録	中谷 守也	14	6	308	1961
製塩関係特許抄録	中谷 守也	15	1	45	1961
製塩関係特許抄録	中谷 守也	15	4	198	1961
製塩関係特許抄録	中谷 守也	15	5・6	267	1962
製塩関係特許抄録	中谷 守也	16	2	97	1962
製塩関係特許抄録	中谷 守也	16	5	246	1963
製塩関係特許抄録	中谷 守也	17	1	52	1963
製塩関係特許抄録	中谷 守也	17	3	160	1963
製塩関係特許抄録	中谷 守也	17	4	215	1963
製塩関係特許抄録	中谷 守也	17	5	269	1964
製塩関係特許抄録	中谷 守也	17	6	310	1964
製塩関係特許抄録	中谷 守也	18	2	96	1964
製塩関係特許抄録	中谷 守也	18	3	150	1964
製塩関係特許抄録	中谷 守也	18	6	291	1965
製塩関係特許抄録	中谷 守也	19	1	60	1965

日本塩学会, 日本海水学会誌 第11巻～第20巻 総目次
昭和32(1957)年～昭和42(1967)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
製塩関係特許抄録	中谷 守也	19	3	191	1965
製塩関係特許抄録	中谷 守也	19	5	292	1966
製塩関係特許抄録	中谷 守也	20	2	109	1966
製塩関係特許抄録	中谷 守也	20	3	162	1966
製塩関係特許抄録	中谷 守也	20	4	237	1967
製塩関係特許抄録	中谷 守也	20	6	352	1967

6.5 会員寄書

海水および淡水の天日蒸発による重水の濃縮	名倉 民雄	11	4	216	1957
塩素イオンの銀滴定について	清水 和雄, 山崎 正雄	11	6	323	1957
チオシアン化物添加によるかん水の濃縮（にがりの濃縮率を求めるための一つの試み）	清水 和雄, 池田 順枝	12	6	329	1958
食塩中のホウ素含有量	清水 和雄, 宗 義彦, 尾方 昇	16	2	94	1962
25°Cおよび110°Cにおける母液の濃縮についての一考察	村上 正祥	17	3	154	1963
隔膜電解法による苦汁のマグネシウムの水酸化マグネシウムとしての分離	村上 敏治	18	6	288	1965
天日塩の組成およびその分析法について	尾方 昇, 井上 信子	19	3	172	1965

6.6 講習会講演概要

種添加缶石防止法について（第3回講習会）	清水 幸夫	11	1	2	1957
種添加缶石防止法における種沈殿槽について（第3回講習会）	岡本 速雄	11	1	5	1957
種添加およびにがり添加法缶石防止法における蒸気エゼクターについて（第3回講習会）	堺 嘉之	11	1	8	1957
林田塩産における製塩設備の概略について（第3回講習会）	西田 正一	11	1	9	1957
規模・濃度別せんごうコストについて（第3回講習会）	塩谷 栄作	11	2	75	1957
種添加による加圧濃縮缶の運転状況に就いて（第3回講習会）	上玉 礼次郎	11	2	77	1957
質疑応答（第3回講習会）		11	2	80	1957
質疑応答（第4回講習会）		11	2	82	1957

6.7 研究発表会講演要旨

第8回日本塩学会研究発表会講演要旨		11	3	127	1957
第12年会研究技術発表会講演要旨		15	2	57	1961

日本塩学会, 日本海水学会誌 第11巻～第20巻 総目次
 昭和32(1957)年～昭和42(1967)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
6.8 製塩工場めぐり					
愛知塩業組合		18	1	41	1964
赤穂海水工業株式会社		18	1	42	1964
赤穂東浜塩業組合		18	1	43	1964
味野塩業組合		18	1	44	1964
開墾塩業株式会社		18	2	99	1964
錦海塩業株式会社		18	2	100	1964
大塩塩業組合		18	3	152	1964
小松塩業組合		18	3	153	1964
木太塩田株式会社		18	4	198	1964
坂出塩業組合		18	4	199	1964
崎戸製塩株式会社		18	4	200	1964
新興塩業組合		18	4	201	1964
瀬戸田塩業組合		18	5	244	1965
詫間合同製塩株式会社		18	5	245	1965
内海塩業株式会社		18	5	246	1965
鳴門塩業組合		18	5	247	1965
新日本化学工業株式会社小名浜工場		18	6	295	1965
仁尾塩田株式会社		18	6	296	1965
日本化学塩業株式会社		18	6	297	1965
伯方塩業組合		18	6	298	1965
林田塩産株式会社		19	1	63	1965
扶桑塩業組合		19	1	64	1965
北陸製塩工業株式会社		19	1	65	1965
三井塩業株式会社		19	1	66	1965
八木塩業組合		19	2	143	1965